



(災害訓練の様子)

により、市内の被災状況をいち早く映像情報として確認しよう、という新たな試みです。

奇しくも10日後の9月10日、台風18号の影響による関東東北地方の水害の際には、市内の各地の河川の状況等が送られ、早速、訓練

の成果を發揮することができました。

またタブレットを携帯している議員に問い合わせると、個人情報等に配慮した上で、実物の資料をもとに議会活動の詳細を知っていただくことも可能になりました。

それまでは山のような書類の中から市民の皆様が必要な情報を探す必要がありました。その資料をほぼすべて持ち歩くことが可能になったわけです。

セキュリティ面も充実しています。貸与されている議員以外が無断で閲覧しようとしても指紋認証かパスワードを入力しない限りタブレットを開くことはできません。

大田原市議会では、今後も議会のICT化を図るとともに、新たな取り組みを続け、市民の皆様にかかれた議会になるよう努力してまいります。

使ってみて。。。



〈前田雄一郎議員の感想〉

タブレット端末を初めて議員の研修で操作した時は大変戸惑いました。そして今年の3月からは本格的に導入して、議会の中で使うことになり、本当にできるのか不安がありました。

タブレット研修を重ねるうちに使えるようになってきました。

最近では、自宅でも時間がある時は、常にタブレット端末を操作して、定例会や全員協議会の資料を見たり、議会事務局からタブレット端末に送ってくる会議の出欠要求の返信や情報提供の資料に目を通しています。

現在は、インターネットで調べものをしたり、市民からの市に対する要望箇所の写真を撮影し、メールで送信したりと非常に便利に使っています。

